

# 令和4年度事業報告

## I 概要

公益目的事業として下記のとおり4事業を実施しました。

### 1 県民への広報事業

臓器移植及び腎臓病の予防に関する理解を広げるための事業

### 2 移植医療体制整備等事業

臓器提供、臓器移植を担う医療機関の対応力の向上や臓器搬送をはじめ移植医療との連携が必要な機関などの体制の整備と連携の強化等を推進する事業

### 3 臓器移植希望者支援事業

臓器移植を希望する患者に対する情報提供・助成等の支援事業

### 4 臓器提供者フォロー事業

臓器提供者側に十分な敬意と謝意を示すとともに、提供者遺族等への精神面の支援等を行う事業

## II 各事業の実施状況

### 1 県民への広報事業【公益目的事業1】

県民に対して、臓器移植の必要性や臓器不足の現状、臓器移植の制度等への理解、臓器提供意思表示カードの携帯などを訴え、臓器移植の普及に取り組むとともに、特に臓器移植希望者が多い腎不全患者の増加等を抑制するため、腎疾患の予防のための知識の普及を図りました。

#### (1) 啓発イベント等による広報

##### ①臓器移植普及推進月間(10月)グリーンリボンキャンペーン

毎年全国一斉に展開されている臓器移植普及推進月間事業として、ポスター等の配布、市町の展示コーナー、グリーンライトアップ等により臓器移植への理解、臓器提供に関する意思表示の普及広報に努めました。

##### a) 街頭キャンペーン

場 所 駅前不動産スタジアム(鳥栖市)

期 日 10月1日(土)

内 容 啓発グッズの配付

##### b) 懸垂幕による広報

場 所 佐賀県庁、伊万里市役所、小城市役所及び上峰町役場

期 間 佐賀県庁 10月3日(月)～10月31日(月)

伊万里市役所 10月3日(月)～10月31日(月)

小城市役所 10月3日(月)～10月28日(金)

上峰町役場 10月3日(月)～10月21日(金)

内 容 懸垂幕「あなたの意思で救える命があります。臓器提供意思表示にご協力を」  
佐賀県・佐賀県臓器バンク・日本臓器移植ネットワーク]

c) グリーンライトアップによる広報

場 所 佐賀メディカルセンタービル

期 間 10月13日(木)～10月19日(水)

場 所 唐津市近代図書館

期 間 10月13日(木)～10月19日(水)

場 所 久光製薬ミュージアム

期 間 10月13日(木)～10月19日(水)

場 所 筑後川昇開橋

期 間 10月14日(金)～10月19日(水)

d) ポスター等による広報

内 容 移植医療への理解を呼びかけるACジャパン支援ポスター約1800枚を配布  
配布先 医療機関、市町、学校、警察署、運転免許センター、自動車学校等

e) デジタルサイネージ（臓器提供意思表示促進CM）

佐賀県庁、佐賀市役所、昇開橋橋の駅ドロンプ、武雄市役所、多久市役所、  
小城市役所、神埼市役所、佐賀メディカルセンタービル、佐賀大学医学部附属病院、  
佐賀県医療センター好生館、医療法人松籟会河畔病院の県内11カ所で実施した。

f) 移植医療に関するコーナー展の設置

佐賀県庁、佐賀市役所、昇開橋橋の駅ドロンプ、唐津市役所、唐津市近代図書館、  
多久市役所、伊万里市役所、小城市役所、嬉野市立嬉野図書館・塩田図書館、  
吉野ヶ里町東脊振健康福祉センター、基山町保健センター、有田町福祉保健センタ  
ー、白石町役場、太良町役場、佐賀中部保健福祉事務所、唐津保健福祉事務所、  
伊万里保健福祉事務所、杵藤保健福祉事務所、佐賀メディカルセンタービル、  
佐賀大学医学部附属病院の県内21カ所で実施した。

g) 移植を受けたこどもたちの作品展

佐賀県臓器バンク及び佐賀県の主催で実施した。

場 所 佐賀メディカルセンタービル1階

期 間 10月13日(木)～10月19日(水)

h) いのちのリレーポスターコンテスト

臓器移植が「いのち」という贈り物を「新しいいのち」へつなげていく「いのちのリレー」  
になることについて考えてもらう趣旨で、ポスターコンテストを実施した。

応募者 40名

入賞者 5名 金賞、銀賞、銅賞、審査員特別賞、佐賀県腎臓病協議会長賞  
入賞作品等は、佐賀県庁新館県民ホールに展示した。

[表彰式]	場 所	佐賀県庁旧館 4階正庁
	期 日	10月10日(月)
[作品展示]	場 所	佐賀県庁新館 1階県民ホール
	期 間	10月11日(火)～10月14日(金)

②世界腎臓デー(毎年3月第2木曜日)におけるキャンペーン  
新型コロナウイルス感染症対策のため、中止した。

(2) 他団体の各種イベントや街頭等における随時の広報

①県内イベントや街頭での広報事業

多くの県民の方に移植医療や提供臓器が不足している現状、制度や臓器提供意思表示の手続きなどについて理解を広げるため、新型コロナウイルス感染症の発生状況等を踏まえながら県内各地で開催される他団体のイベント会場等において、県民を対象にパネルの展示、臓器移植意思表示カード、リーフレットの配布により、広報を行いました。

実施会場 佐賀市 佐賀大学医学部学園祭(5月21日～5月22日)

実施会場 佐賀市 大和中央公園花しょうぶ園(5月29日)

実施会場 唐津市 見返りの滝あじさい祭(6月4日)

実施会場 嬉野市 嬉野温泉秋祭り(10月29日)

②成人式会場における広報

成人式への参加者に対して、臓器提供意思表示カード普及についてのリーフレットを配布しました。

対象市町数 20市町 送付数 7,600部

(3) 公共施設窓口等における広報

市町庁舎、図書館、県運転免許センター等の公共施設、医療機関、薬局、保健所、金融機関、大学等の窓口に臓器移植に関するリーフレット等を配置し、当該施設等への来場者に対する広報を行いました。

資料配置箇所 累計 約800カ所

(4) 出前講座

看護関係の専門学校・高校での授業等の際に、要請に応じて、臓器移植コーディネーターによる講座、学習会を行いました。

・武雄看護リハビリテーション学校(看護科・理学療法学科) 5月16日 81名

・伊万里看護学校 (5月20日) 31名

- ・西九州大学小城キャンパス(7月5日) 105名
  - ・医療福祉専門学校緑生館 専攻看護学科(7月26日) 52名
  - ・アカデミー看護専門学校(8月3日) 80名
  - ・佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校衛生看護専攻科(11月14日) 71名
  - ・医療福祉専門学校緑生館 総合看護学科(12月1日) 42名
  - ・佐賀市医師会立看護専門学校 看護専門課程(12月21日・12月22日) 73名
  - ・鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校(2月21日) 24名
- (計 559名)

#### 《県民への広報事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益及び受取民間補助金収益

- ・県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置及び活動等に対する助成

## 2 移植医療体制整備等事業【公益目的事業1】

臓器提供者側の意思表示に適切に対応し、臓器提供、臓器移植を円滑に進めていくには、臓器提供が発生する可能性がある医療機関における臓器提供時の対応力の充実、臓器提供側医療機関と移植を行う医療機関及び臓器移植コーディネーター、公益社団法人日本臓器移植ネットワーク等の当事者間の協力と連携体制を築いておくことが不可欠です。当財団の臓器移植コーディネーターが各医療機関を訪問して当該医療機関の課題等を把握するとともに、臓器提供時に臓器提供医療機関の窓口となり、また日頃から各医療機関内での体制づくりの推進役となる院内移植コーディネーターの配置や、県内の移植医療関係者を対象に対面又はオンラインでの連絡会議や研修会等を開催して、各医療機関の臓器移植への対応力の向上と協力・連携体制の向上を図りました。

また、臓器移植を行う場合には、摘出された臓器の搬送を限られた時間内に的確に搬送する必要があるため、臓器搬送車の誘導等を行う警察や航空機利用時の空港、緊急時での活用が想定される防災ヘリコプターの管理者等と、連絡体制や連絡方法、臓器搬送時に必要な配慮などについて予めマニュアル化しており、担当者等の交代時には随時確認するなど対応力の維持に取り組みました。

### (1) 院内移植コーディネーターの配置

臓器提供の可能性が高い救急指定病院(消防法及び厚生労働省令に基づき都道府県が指定告示した病院)等において、臓器提供時の病院内当事者間の調整、県臓器移植コーディネーターや公益社団法人日本臓器移植ネットワークとの連絡調整等を担うとともに、日頃からの病院内体制づくりをけん引する「院内移植コーディネーター」を委嘱しました。

- ・令和4年度委嘱者数(施設数) 61名(10施設)
- 佐賀大学医学部附属病院、佐賀県医療センター好生館、唐津赤十字病院、河畔病院、白石共立病院、嬉野医療センター、伊万里有田共立病院、やよいがおか鹿毛病院、

新武雄病院、今村病院

・報酬等 なし

(2) 院内移植医療勉強会の開催

佐賀県医療センター好生館透析療法従事職員研修会

日時 12月12日(月) 13:00~15:30

場所 佐賀県医療センター好生館カンファレンス室

内容 移植医療について、献腎登録について

(3) 連絡・連携のための会議等の開催

移植医療関係者の相互の連携を深めるとともに、共通する課題等についての情報・意見の交換によって知識を深めるため、県内移植医療関係者合同の連絡会議を開催しました。

①佐賀県臓器移植普及会議の開催

a) 令和4年度第1回会議

日時 令和4年11月25日(金) 17:30~19:50  
オンライン(ZOOM活用)による研修

参加者 県内院内移植コーディネーター、移植医療関係者

内容 座長 佐賀大学医学部附属病院 脳神経内科

助教 鈴山 耕平 先生

・「法的脳死判定の実際について」

講師 佐世保市総合医療センター 救急集中治療科

部長 平尾 朋仁 先生

・「臓器提供発生時のドナー管理について」

講師 浦添総合病院 救急集中治療部

副部長 岩永 航 先生

b) 令和4年度第2回会議

日時 令和5年3月11日(土) 13:30~16:30

参加者 県内院内移植コーディネーター、移植医療関係者

内容 脳死下臓器提供(第722例目)症例発表

・主治医より

講師 嬉野医療センター 救急科

小牧 萌絵 先生

・脳死判定医より

講師 佐賀大学医学部附属病院 脳神経内科

助教 鈴山 耕平 先生

- ・臨床検査技師より  
講師 佐賀大学医学部附属病院 検査部生理機能検査室  
係長 石隈 麻邪 先生
- ・病棟看護師より  
講師 佐賀大学医学部附属病院 看護部  
椛島 久美子 先生
- ・手術室看護師より  
講師 佐賀大学医学部附属病院 看護部  
看護師長 草場 裕 先生
- ・臓器提供に対する取り組み  
講師 佐賀大学医学部附属病院 脳神経内科  
助教 鈴山 耕平 先生
- ・事務部にお願いしたいこと  
講師 公益財団法人佐賀県臓器バンク  
佐賀県臓器移植コーディネーター 荒木 千代美

## ②院内移植コーディネーター研修会の開催

- 研修会 第1回院内コーディネーター研修会  
日 時 令和4年8月27日（土）13：30～16：45  
オンライン（ZOOM活用）による研修
- 参加者 県内院内移植コーディネーター
- 研修①  
内 容 「臓器提供の流れ（脳死下・心停止後）」  
講 師 公益財団法人佐賀県臓器バンク  
佐賀県臓器移植コーディネーター 荒木 千代美
- 研修②  
内 容 「臓器提供における適応判断（脳死下・心停止後）」  
講 師 福岡県臓器移植コーディネーター 岩田 誠司 先生
- 研修③  
内 容 「院内移植コーディネーターの役割について」  
講 師 山口大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 臨床看護学講座  
助教 山本 小奈実 先生
- 研修④  
内 容 「院内移植コーディネーターの実際（臓器移植発生時と平時）」  
講 師 福岡大学病院 看護部 救命救急センター  
看護師長 川鍋 智子 先生

#### 研修⑤

内 容 「角膜提供の流れ」  
講 師 公益財団法人佐賀県アイバンク協会  
アイバンクコーディネーター 柿原 佳栄 先生

研修⑥ ・令和3年度院内移植コーディネーターへのアンケート調査の結果について  
・「臓器の移植に関する法律」の運用に関する指針（ガイドライン）の一部  
改正について

公益財団法人佐賀県臓器バンク  
佐賀県臓器移植コーディネーター 荒木 千代美

#### (4) 適応判断シートの作成及び配布

脳死下臓器提供適応判断シート及び心停止後臓器（腎臓）提供判断シートを作成し、  
関係医療機関に470部を配布しました。

#### (5) 臓器搬送体制の確保

臓器搬送への協力が必要な警察、消防、空港、防災ヘリ等の関係機関の組織や担当者の異  
動に伴う連絡網の修正、道路規制、空港管理の変更や緊急車両の運用方法の変更等の他、  
交通事情の変化等に伴う「佐賀県における脳死下臓器提供・移植時の臓器搬送マニュアル」  
の見直し等を行うなど、着実、迅速な臓器搬送ができるよう佐賀県危機管理防災課、防災航  
空センター、佐賀空港事務所、佐賀県警察本部、関係消防機関等による協力機関連絡会議を  
開催し、臓器提供者発生時の検視、臓器搬送に関する連絡方法等について確認をしました。

#### ・臓器提供発生時の協力機関連絡会議

日 時 令和4年6月27日（月）15：00～16：00

場 所 佐賀市 佐賀メディカルセンタービル 研修室

参加機関 佐賀県危機管理防災課、防災航空センター、佐賀空港事務所、警察本部警備二課、  
地域課、捜査一課、佐賀広域消防局、杵藤地区消防本部、唐津市消防本部、佐賀  
県健康福祉政策課、佐賀県臓器バンク

#### 《移植医療体制整備等事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益及び受取民間補助金収益

- ・県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置・活動に対する助成

### 3 臓器移植希望者支援事業【公益目的事業1】

臓器移植を受けるために必要な臓器移植希望登録の際に本人の負担を軽減するため、手続  
きの支援や費用の助成を行いました。

(1) 臓器移植希望者への情報提供

12件の相談に対応して、電話や対面での相談、検査施設での立会、手続きの支援等を行いました。

(2) 臓器移植希望登録に係る費用の助成

公益社団法人日本臓器移植ネットワークに臓器移植希望を登録するために必要な組織適合検査（HLA検査）に要する費用を助成しました。

助成者数:14名 助成額:350,000円

《臓器移植希望者支援事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益

- ・ 県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・ 県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置・活動に対する助成

**4 臓器提供者フォロー事業【公益目的事業1】**

該当者なし。

《臓器提供者フォロー事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益

佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金